

厚生・産業常任委員会 県内行政調査

1 調査日 令和2年7月28日(火)

2 調査の概要

(1) 滋賀県衛生科学センター(大津市御殿浜)

昨年12月に中国で最初の症例が報告された新型コロナウイルス感染症は、その後世界中に拡大し、本県においても感染者数は150名を超えた。また、去る4月16日に発令され5月14日に解除された本県への緊急事態宣言は、長期間の外出自粛や各企業等の休業などを伴うなど、県民の生活や県内経済全体に甚大な影響を与えた。

本県では、滋賀県衛生科学センターを中心に行政検査で1日あたり95件の検査能力を持つが、現在到来している「第2波」以降においては、その検査能力を超えての対応も想定される。

そうした中、必要な検査を実施し早期の陽性患者の把握に努め、感染拡大を食い止めるためには、県内の検査体制を強化することが求められている。

加えて、本委員会においても「新型コロナウイルス感染症対策について」を重点審議事項に位置付け、今後の審議を予定していることから、PCR検査の手法や体制についての調査を実施した。

